

## 富山県衛生研究所倫理審査委員会の審査結果について

富山県衛生研究所では、県民の健康の維持増進、疾病防止のための調査・研究を行っています。これらには、人を対象とする研究や人体より採取した試料（尿、血液等）を用いる研究があり、実施にあたっては倫理的妥当性や科学的合理性が求められ、かつ個人情報などプライバシーに配慮することが不可欠となっています。そのため、当所では、外部の医療・法律の専門家や倫理・人権の有識者等による倫理審査委員会を設置し、調査・研究の倫理的・社会的妥当性等を審査いただいております。

平成30年7月～10月に計5件の新規申請について審査されました。審査は富山県衛生研究所倫理審査委員会運営要領に基づき、委員長が指名する委員による迅速審査で行われました。申請内容及び審査結果は以下のとおりです。

### 1 審査日時（全て迅速審査）

【受付番号:30-4】平成30年7月23日（月）～8月6日（月）

【受付番号:30-5～7】平成30年9月18日（火）～10月16日（火）

【受付番号:30-8】平成30年10月17日（水）～11月1日（木）

### 2 審査対象研究課題の概要及び審査結果

	研究課題名	研究の概要	審査結果
1 新規	【受付番号:30-4】 ピロガロールレド・モリブデン錯体比色法による尿蛋白定量の検討 （環境保健部 上野部長）	・衛生研究所環境保健部で行う尿蛋白定量を比濁法から比色法に変更するため、測定方法の正確性及び再現性等を検討する。 ・尿検体として、住民健康調査の目的で医療機関で採取された尿（既存試料）を用いる。医療機関からの情報は既に匿名化されたもののみを用いる。	承認
2 新規	【受付番号:30-5】 流産胎児検体の前処理法（酵素法）における条件の検討 （がん研究部部 湊山研究員）	・がん研究部で実施している「流産胎児検体の染色体検査」の検査精度向上のため、培養法を検討する。 ・試料として、研究利用について包括的同意が得られている病院からの依頼検体（既存試料）を用いる。染色体検査依頼書に記載された個人情報は削除し匿名化する。	承認

3 新規	<p><b>【受付番号:30-6】</b> 流産胎児検体の染色体検査における偽性モザイク検出率を低下させるための検討～トリプシン EDTA 法での培養成立期間短縮について～ (がん研究部 高森主任研究員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん研究部で実施している「流産胎児検体の染色体検査」の検査精度向上のため、培養法を検討する。</li> <li>・試料として、研究利用について包括的同意が得られている病院からの依頼検体（既存試料）を用いる。染色体検査依頼書に記載された個人情報は削除し匿名化する。</li> </ul>	承認
4 新規	<p><b>【受付番号:30-7】</b> 流産胎児検体の染色体検査における偽性モザイク検出率を低下させるための検討 (がん研究部 高森主任研究員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん研究部で実施している「流産胎児検体の染色体検査」の検査精度向上のため、培養法を検討する。</li> <li>・試料として、研究利用について包括的同意が得られている病院からの依頼検体（既存試料）を用いる。染色体検査依頼書に記載された個人情報は削除し匿名化する。</li> </ul>	承認
5 新規	<p><b>【受付番号:30-8】</b> クドア属 18S rRNA 遺伝子検出 PCR 法の開発とその利用に関する研究 (細菌部 綿引上席専門員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有症苦情事例の原因追及のため搬入された患者2名の便（既存試料）を用い、粘液胞子虫を検出する PCR 法について検討する。</li> <li>・研究成果を公表する際（論文投稿など）に患者の個人情報は含まれない。</li> </ul>	承認